

感染性胃腸炎週報 2016年 第50週 (12月12日～12月18日)

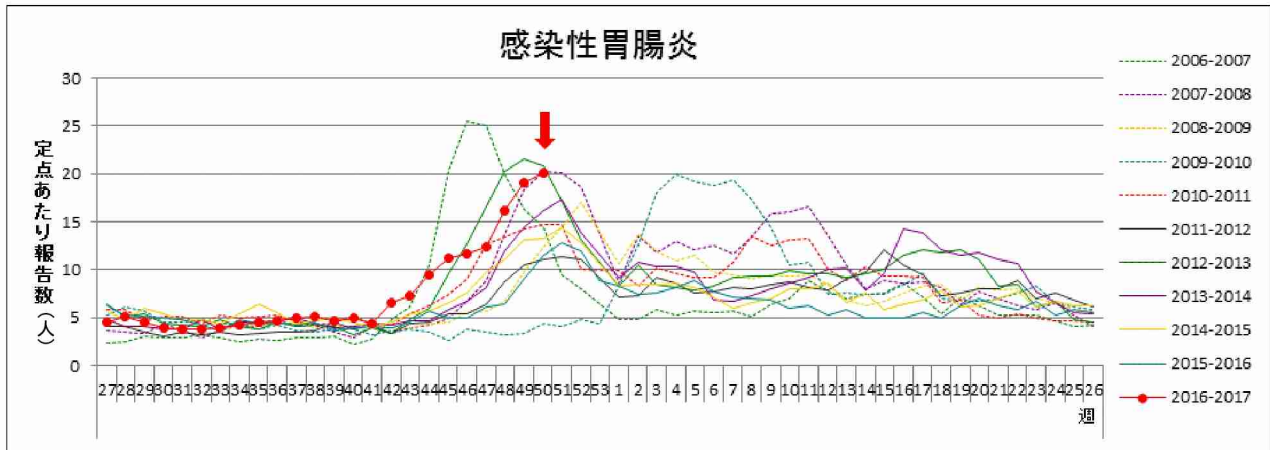
【お知らせ】 次週、2016年第51週(12/19～12/25)の感染性胃腸炎週報は、2017年1月6日(金)にホームページへ掲載いたします。

岡山県の流行状況

- 感染性胃腸炎は、県全体で1,088名(定点あたり19.07 → 20.15人)の報告がありました(54定点医療機関報告)。
- 感染性胃腸炎による学校等の臨時休業が6施設でありました。

【第51週 速報】

- 感染性胃腸炎による学校等の臨時休業が5施設でありました。(12月19日～21日)

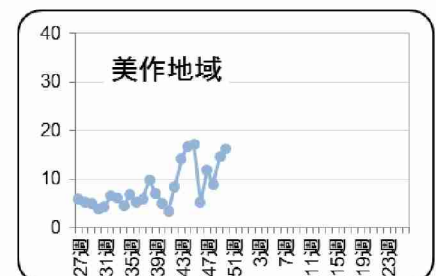
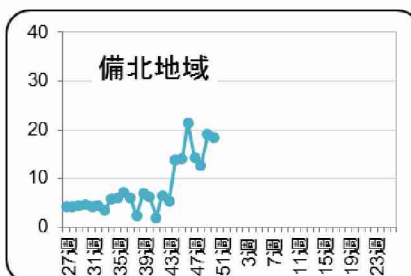
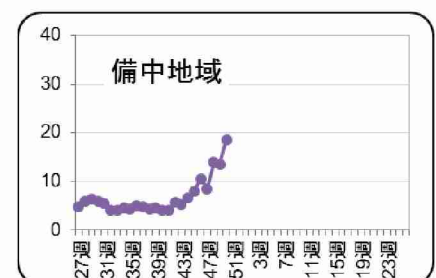
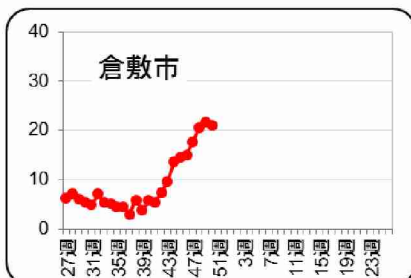
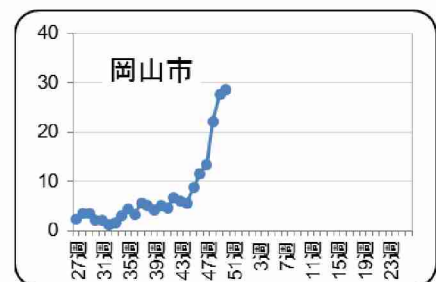
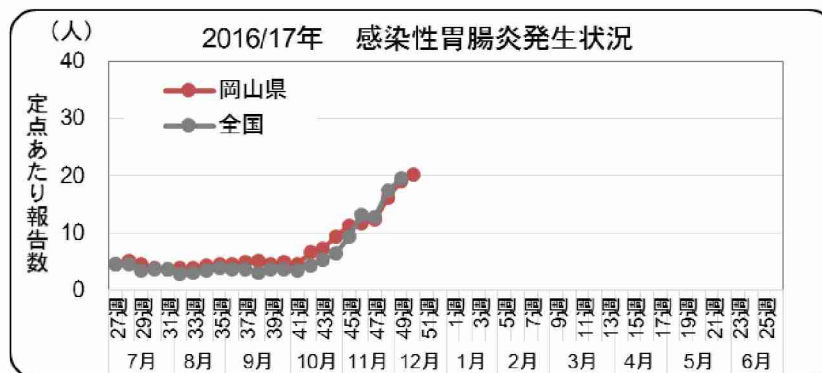


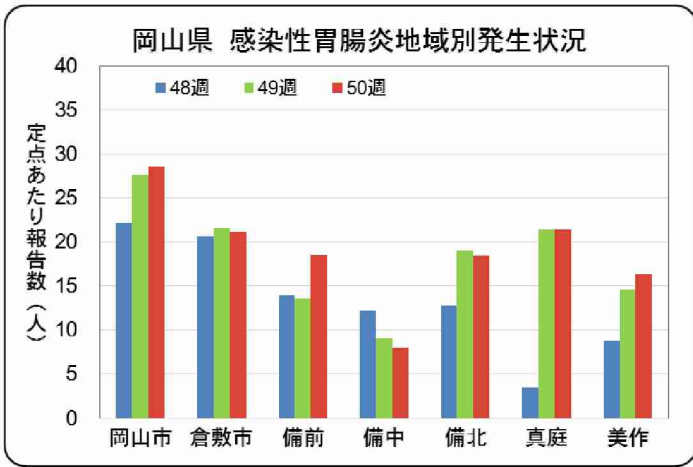
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で1,088名(定点あたり19.07 → 20.15人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。患者数の大きな増加はありませんが、県全体の定点あたり報告数が20人を超え、発生レベル3となりました。定点あたり報告数が20人を超えたのは、2012年第50週(20.83人)以来のことです。

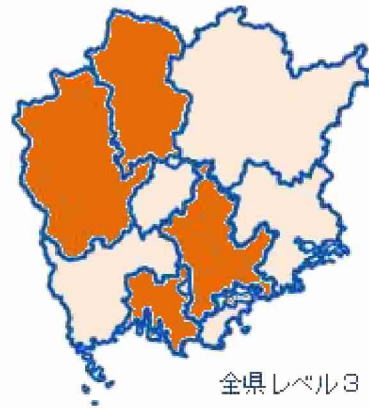
冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。また、小さなお子さんや高齢の方は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

◆地域別・年齢別発生状況



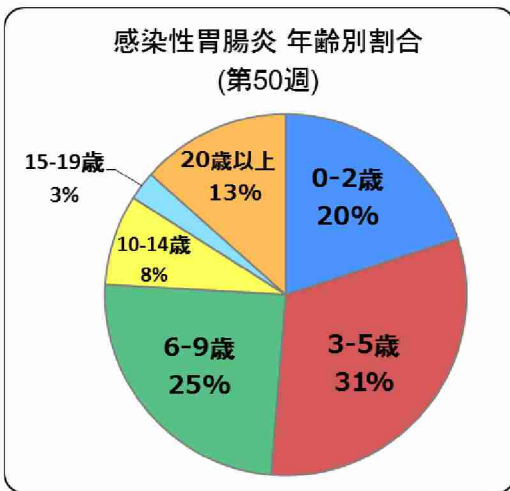


感染性胃腸炎感染症マップ 2016年 50週



レベル3		レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
20	12	0 <small>く</small> 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。



地域別では、岡山市 (28.50 人)、真庭地域 (21.50 人)、倉敷市 (21.09 人) の順で定点あたり報告数が多くなっており、岡山市、倉敷市、備北地域及び真庭地域では、発生レベル3が継続しています。

第50周年齢別割合では、3-5歳 31%、6-9歳 25%、0-2歳 20%の順で高くなっています。

◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

予 防 方 法

1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理をするときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、おう吐物をペーパータオル等で静かに拭き取りましょう。拭き取った後は、次亜塩素酸ナトリウム(※家庭用塩素系漂白剤でも代用可)で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、85℃で1分間以上の熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウム(※家庭用塩素系漂白剤でも代用可)での消毒が有効です。

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いした後、熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。(中心部を85~90℃で90秒間以上)

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。

※塩素系漂白剤の使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。

○ノロウイルスに関するQ&A (厚生労働省)

○ノロウイルス感染症とその対応・予防 (家庭等一般の方々へ) (国立感染症研究所)